

GK情報レポート

【2021年発行】

vol. 63

新年号

発行者

権田金属工業株式会社 営業部
〒252-0212

神奈川県相模原市中央区宮下 1-1-16

電話 042-700-0221

FAX 042-700-0660

E-mail: eigyo@gondametal.co.jp

<http://www.gondametal.co.jp>

Contents

1. 新年ご挨拶
2. 新年のお詣り
3. GK 太物丸棒の紹介
4. 製造部 製造課 圧延係 紹介
5. 銅相場見通し

皆様でご覧下さい。

回 覧 印										
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※バックナンバー（Vol.1～62）を用意しております。ご希望の方は当社営業部までお問い合わせ下さい

権田金属工業株式会社

1. 新年ご挨拶

皆様 明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナで大変振り回された1年になりました。日本の景気も大きな影響を受けました。中には業績を伸ばされた会社もおありとは思いますが、伸銅、軽圧業界は総じて受注が落ち込み、収益的には厳しい状況であったと思います。

今後の見通しとして個人的には、今年前半には新型コロナに対する有効な治療薬が日本でも用いられるようになり、東京オリンピックは規模は縮小するかもしれませんが開催され、今年の年末には市民生活も落ち着きを取り戻し、景気も回復に向かっていると期待しております。

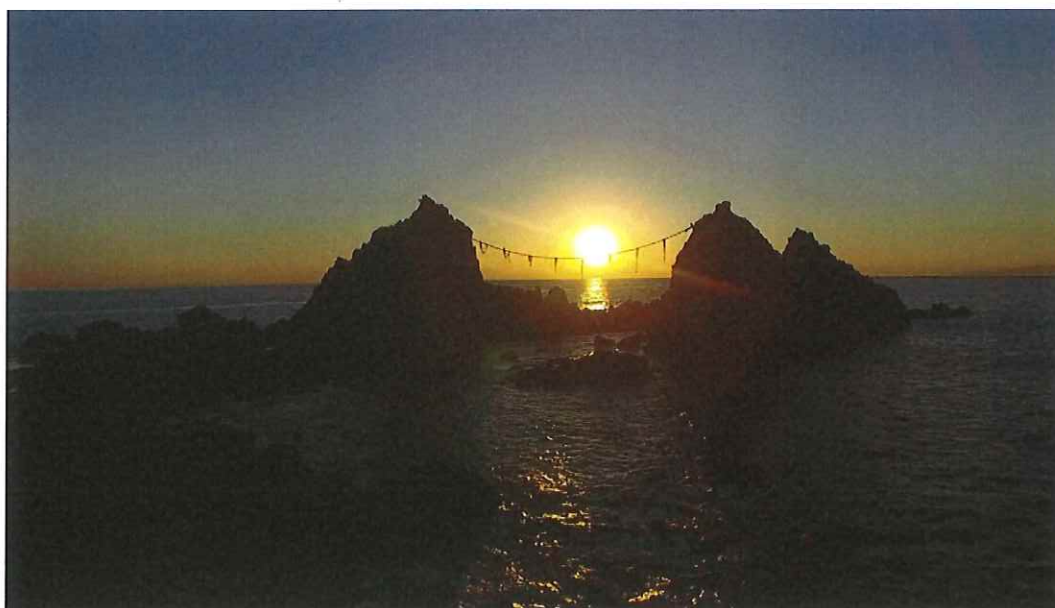
銅価格は、景気回復による需要増加や、余剰資金による投機資金流入によって、高値水準で乱高下する可能性があるかと予想しています。需要家様には、必要なものはその都度手配されることをお勧めいたします。

昨年の春の褒章で、旭日単光章を頂きました。これはひとえに皆様方のお引き立てのお蔭と感謝申し上げます。

今年も皆様のお役に立てる会社になるように努力を続けてまいります。

より一層のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

権田金属工業株式会社
代表取締役社長 権田源太郎



神奈川県真鶴半島・2021年元旦の日の出

2. 新年のお詣り

明けましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしく願いいたします。

さて、皆様は新年のお詣りにはいらっしゃったでしょうか。
所縁のある神社仏閣に詣でられた方もいらっしゃれば、今回は取り止められた方もいらっしゃることと思います。

当社では例年、当社の近傍に所在する氷川神社にお詣りし、ご祈祷をお願いしております。
権田金属では作業安全と商売繁盛、関連会社の権田運輸では交通安全と商売繁盛をお祈りしています。

今年もご祈祷の場が設けられるとのことでお伺いしましたが、やはりこのような状況のためか、参拝される方の姿は例年よりも少ないように感じられました。
しかしその分、熱心にお詣りされている方や、おみくじを引いて喜ぶお子さんの姿などが印象的に映りました。

私は今回初めての参加でかなり緊張しておりましたが、厳粛な気持ちでご祈祷を受けることができ、新年に向けて改めて頑張っていこうという気持ちになることができました。
再び非常事態宣言が発令されるなど、まだまだ厳しい状況が続きそうですが、当社は今年も皆様にご満足いただけるよう、誠心誠意努めてまいります。

記者 権田有紀子



3. GK 太物丸棒の紹介

当社では丸棒を製造しており、その中でも 115Φ超のサイズは、太物丸棒を中心に製造している当社の特徴でもあります。高品質と豊富なラインナップはお客様からも非常に高い評価を得ております。

当社の太丸棒が優れている点は、他社製品の大半が押出丸棒であるのに対し、当社の太丸棒は鍛造後旋盤加工で仕上げていることです。

これは鍛造後に旋盤加工する事により、他社の押出丸棒と比べて寸法精度と真円度に格段の違いが出る為、外径が JIS と比べて数倍も厳しい公差をお求めのお客様の要求に対しても、柔軟に対応する事が可能です。

その結果お客様に納入後、わずかな前処理だけで加工に着手する事が可能です。また曲がりもほとんど無い上に他社製品と比べて長い為、お客さまの加工時間の短縮や歩留向上にも大きく貢献出来ます。

銅丸棒 C1100BF-F(115Φ～300Φ)

サイズ(Φ)	長さ(mm)	重量(kg)	サイズ(Φ)	長さ(mm)	重量(kg)
115	約 2,200	約 200	210	約 1,400	約 430
120	約 2,000	約 200	220	約 1,250	約 420
130	約 2,400	約 280	230	約 1,700	約 630
140	約 2,100	約 290	240	約 1,550	約 620
150	約 1,900	約 300	250	約 1,450	約 630
160	約 2,200	約 400	260	約 1,350	約 630
170	約 2,100	約 420	270	約 1,400	約 700
180	約 1,850	約 420	280	約 1,250	約 680
190	約 1,750	約 440	290	約 1,100	約 650
200	約 1,500	約 420	300	約 1,050	約 650

※長物の為、長さは乱尺(概算)になります。



サイズ(Φ)	長さ(mm)	重量(kg)	サイズ(Φ)	長さ(mm)	重量(kg)
115	約 2,200	約 200	210	約 2,050	約 600
120	約 2,400	約 230	220	約 1,900	約 600
130	約 2,150	約 240	230	約 2,000	約 700
140	約 2,500	約 325	240	約 1,850	約 700
150	約 2,400	約 360	250	約 1,700	約 700
160	約 2,200	約 375	260	約 1,550	約 700
170	約 1,950	約 375	270	約 1,450	約 700
180	約 2,500	約 540	280	約 1,450	約 750
190	約 2,400	約 575	290	約 1,350	約 750
200	約 2,250	約 600	300	約 1,250	約 750

※長物の為、長さは乱尺(概算)になります。400Φ超サイズの製作も可能です。

GK 太丸棒(銅丸棒・黄銅丸棒)の特徴のまとめ

① 鍛造後に切削する製法なので真円度が高く曲がりも少ない!!

お客様へ納入後、わずかな前処理だけで加工に着手する事が出来る為、加工時間短縮に繋がります。お客様からは非常に高い評価を得ております。また製品長も他社品よりも長い為、お客様における歩留向上によるコスト削減にも寄与しております。

② 他社品の押出丸棒とは外径公差に圧倒的な差!!

他社品の太物丸棒は押出丸棒が大半を占めますが、当社の115Φ以上の丸棒は鍛造後、外径旋盤で仕上げます。ちなみに115Φ以上の押出丸棒のJIS外径公差はC1100・C1020で±2%・C3604で±1%(例・・・C3604 200Φ/±2mm)ですが、当社の鍛造丸棒は『±0.5mm』を目標に仕上げております。その為当社の太丸棒は、他社品の押出丸棒と比較して、例えばC1100の150Φで6倍、C3604の200Φで4倍も厳しい公差で仕上げることが可能です。当社の太丸棒を使用されたお客様が、当社の製品公差や精度の高さに驚かれ、他社品の押出丸棒から当社の外径旋盤した鍛造丸棒に切替えられるという事例が近年増えています!!
ぜひ一度当社の太丸棒をご検討ください。

記者 高橋

4. 製造部 製造課 圧延係 紹介

圧延係は現在4名在籍しており、原材料であるビレットを初めに加工する部署です。大きな工場ですが少数精鋭で次工程に良品を渡すため日々努力を欠かさず作業をしております。

製造の司令塔である工程係より作成された生産予定表に基づき作業を行います。圧延係の作業員は全部で4名おりますが、各々個人の力量が問われる工程となっております。

主な作業工程として、原材料であるビレットを電気炉から大圧延機へ投入し、連続して熱間圧延を行います。その後、製品サイズに沿った圧延機へ数回通し、より製品に近づけるように成形していきます。

この数回に渡る圧延を行う事により、ビレット内部の粗い鑄造組織を、より緻密にした圧延組織へと変えます。当社では、この圧延機を通す製品が大半を占めており、初工程として大変重要となっております。

圧延係内では、主に若手社員が大圧延機のオペレーターを担当しています。熟練社員は自身の経験と勘を後輩に伝えるべくコミュニケーションを図っております。

日々努力の毎日ではありますが、係員協力して技術・技量の継承に努めております。

日々の作業は再現性と臨機応変な対応力が問われます。製造現場では同じ設定にしておけば同じ物が作れると思われがちですが、実はそうではありません。

例えば、圧延工程では加熱温度・保持時間が微妙に異なったり、作業に手間取り時間を要してしまった際などの微妙な温度変化で仕上がりに差が出ます。



私は入社して間もない頃、先輩に“金属は生ものだ”と教わった記憶があります。当時は何を言っているのだ？と思いましたが、今となっては分かる気がします。各々、気付いたことは共有し、前後の工程と相談して改善し良品を作るよう努力しております。

当社の製品を使って頂けるお客様のことを第一に考え、社会に貢献できるようこれからも一つひとつの材料を大切に、安全第一で作業して参ります。

記者 圧延係・河端

向かって右端 河端係長

5. 銅相場見通し

1. 電気銅建値推移

2020年 10月・・・750円スタート（10月平均752.3円）

2020年 11月・・・750円スタート（11月平均776.1円）

2020年 12月・・・830円スタート（12月平均847.8円）

2021年 1月・・・870円スタート

2. LME 在庫状況及び需給状況

LME 指定倉庫在庫状況は、2020年10月は約21万7千トンからスタートした後、徐々に在庫量を減らし、12月末には約10万トン強にまで減少した。

2020年は未曾有の新型コロナウイルスの感染拡大により、世界経済は混乱した。経済活動の停滞により、一時的に銅価は下落した。ただし昨年後半になって、銅の最大需要国である中国経済の回復、コロナワクチン開発による経済活動の回復期待もあり、株価や原油価格と共に銅相場も高騰している。銅のマーケットは他の金融商品に比べて、規模が小さい為、比較の変動幅も大きく、金やその他の相場に影響を受ける事も多い。

今年中には新型コロナウイルスのワクチンや治療薬の開発が期待されるが、当面は海外ではロックダウン（都市の封鎖）、国内では緊急事態宣言の再発令等、不自由な市民生活が続き、経済活動も悪影響を受ける状態が続く見通し。

昨年10月に開かれたICSG（国際銅研究会）では2020年は約5万トンの供給不足、2021年は約7万トンの供給過剰と予測した。

供給面では2020年はロックダウンの影響で特にペルーにおける鉱山の一時閉鎖や生産量の減少により、供給が間に合わなかったと考えられる。2021年についてはウイルスの状況に大きく左右されるが、操業水準が回復すれば、供給過剰となると思われる。

ただしロックダウンの再開及び継続が続けば、生産量の低下の恐れは十分に考えられるので、注意が必要。

需要については、各国の通常の生産活動の回復への期待と環境重視型経済への移行という観点から、2020年以上の消費量となる見込み。EV車はガソリン車に比べて約4倍、太陽光パネルや風力発電では化石燃料発電と比べて約5倍の銅が使用されるという話もある。

中国の需要については、2020年に過剰な輸入を継続し、2021年はその調整が入るという見方があり、中国に関しては2020年と比べて需要が増えない可能性もある。

銅鉱山は開発に時間が掛かると言われており、急激に大幅な供給増は難しい為に長期的に見ても需給のひっ迫は避けられないとする考え方もある。

3. 為替の見通し

現在のドルは米国の中央銀行にあたるFRB（連邦準備制度委員会）による量的緩和政策が継続されている事もあり、供給超過状態。今後についてはコロナウイルス対策の効果にも大きく影響を受けるが、米国の経済が回復基調になれば円安ドル高の傾向となりそう。いずれにしても新米国大統領バイデン氏の動向に注目したい。

4. 今後の見通し

2020年に引き続き、新型コロナウイルスの影響を大きく受ける一年になる。日本国内では再び感染が拡大しており、海外でも感染者、死者が増えている。一方でワクチン接種が開始されるという報道も出ており、経済回復の期待も高まる。

2020年と比べれば、経済活動が活発になると予想される事もあり、銅の消費量も増えるのではないかと思われる。国内建値についてはドル円相場にもよるが、それ以上に供給不足による高水準の相場の方に影響を受けそう。

銅相場については下記の通り予測する。

短期予測（1M）	LME	\$ 7,800~9,000/t	為替	103~106 円/\$
		銅建値	840~950 円/kg	
長期予測（3M）	LME	\$ 7,600~9,500/t	為替	102~108 円/\$
		銅建値	830~1,000 円/kg	

記者 日吉

